

# 英リヤリ英語を叫ぶ カードゲーム

# イングリ

15分

2-6人

年齢  
8+

遊び方動画  
はこちら▶



## 取扱説明書

皆で楽しく遊ぶだけで、自然に英語に慣れることができるカードゲーム「イングリ」の世界へようこそ! ぜひご友人やご家族でお楽しみください。

### セット内容

- カード 55 枚 (アイテムカード 21 枚、トラブルカード 8 枚、ルールカード 26 枚)
- 取扱説明書 (本紙)

### プレイの準備

このゲームにはイージーモードとハードモードがあります。はじめて遊ぶ人がいる場合やお子様がいる場合は、イージーモードがおすすめです。

イージーモードで遊ぶ場合は、左下に **H** と書いてあるカードをすべて取り除いてください(7枚あります)。

ハードモードで遊ぶ場合は、すべてのカードを使用します。

各プレイヤーは右の4種類のアイテムカード【図1】の中から好きなものを1枚を取り、表向きにして自分の前に置きます。

つぎに、裏面が灰色になっている4枚のルールカード【図2】を、テーブルの中央に表向きに置きます。

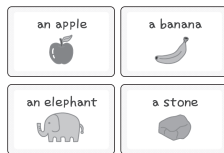
残りのカードを裏向きでよくシャッフルし、表を見ないように2枚取り除きます(ゲームでは使用しません)。

残ったカードをテーブルの中央に裏向きに置き「山札」とします。【図3】

### 手番の流れ

① 最初の手番のプレイヤーをランダムに決めます。手番プレイヤーは、山札の一番上のカードを、全員に見えるように山の上でめくります。この時自分が有利にならないよう、自分から遠い側からめくるようにしましょう。【図4】

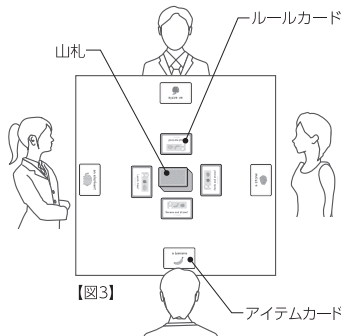
② めくられたカードの処理を行い、手番を終わります。手番は時計回りに進みます。



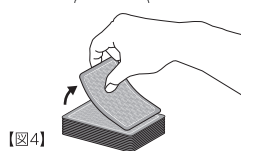
【図1】アイテムカード



【図2】ルールカード



【図3】



【図4】

### カードの処理

カードは大きく分けて3種類あります。

白いフチの「アイテムカード」、赤いフチの「トラブルカード」、青(もしくは灰色)のフチの「ルールカード」です。

「アイテムカード」をめくった時は自分の前に置きます。これがあなたの持っているアイテムとなります。この時、「I have an apple.」などと言ってもいいでしょう。言わなくても罰則はありません。

アイテムカードは常に全員から見えるようにしてください。

「トラブルカード」をめくった時は、そのカードの指示にしたがってください。トラブルカードは自分の手元にルールカードと一緒に裏向きに重ねておきます。

「ルールカード」をめくった時は、山札の周辺に全員から見えるように表向きに置いてください。

ルールカードの上側の絵は「条件」です。見えているルールカード(最初に置いた灰色のルールカードを含む)の条件を満たしていることに気付いたら、誰でもいつでも、そのルールカードの下側に書かれている英文を言うことができます。



アイテムカードの例



トラブルカードの例



ルールカードの例

最も早く英文を言い終わることができたプレイヤーは、そのルールカードを自分の手元に移動してトラブルカードと一緒に裏向きに重ねておきます。【図5】

### ゲームの終了

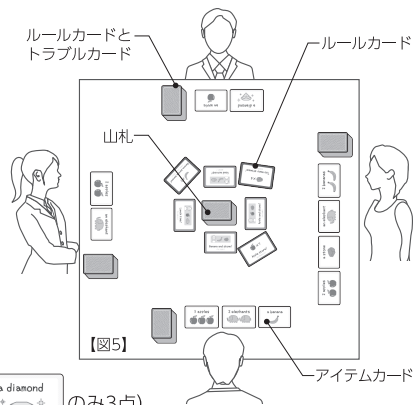
山札がすべてなくなったら、その手番を最後まで行った後ゲーム終了です。

各プレイヤーは、自分の持っているすべてのカードを見て得点計算を行います。

- アイテムカード【白いフチ】・・・1枚1点 (a diamond のみ3点)
- ルールカード【青もしくは灰色のフチ】・・・1枚2点
- トラブルカード【赤いフチ】・・・0点

獲得した得点が最も多いプレイヤーの勝利です。

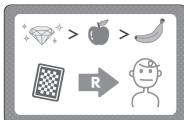
同点が複数いた場合は、取ったルールカードの枚数が多いプレイヤーの勝利です。それでも同じだった場合は、そのプレイヤーたち全員の勝利です。



【図5】

## トラブルカードの詳細

### 【R(Right)のカード】

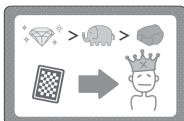


図の場合、持っていれば、 を、なければ を、それもなければ を「右隣のプレイヤー」に移動します。どれも持っていなければ移動は行いません。指定のアイテムを複数枚持っている場合は、最もアイテム数が少ないカードを移動します。

例：あなたは を持っている状態で をめくりました。

は持っていないが、 は2枚持っているため、その中で最もアイテム数の少ない を右隣のプレイヤーに移動します。

### 【×のカード】



図の場合、持っていれば、 を、なければ を、それもなければ を「持っているアイテムカードの枚数が最も少ないプレイヤー」に移動します。最も少ないプレイヤーが複数いる場合は、自分の右隣のプレイヤーから反時計回りに優先します。自分が最も少ない場合は移動を行いません。

## ルールカードの詳細



など

描かれたアイテムを、全員あわせて指定の数以上持った時、英文を言うことができます。



アイテムカードの枚数を、全員あわせて指定の数以上持った時、英文を言うことができます。



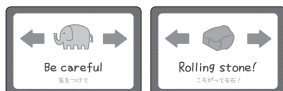
など

描かれたアイテムを、誰か1人以上が指定の数以上持った時、英文を言うことができます。



など

描かれたアイテムを、3人以上が持った時、英文を言うことができます。2人プレイの時は、2人が持った時に言うことができます。



など

描かれたアイテムが、トラブルカードによって移動した時(移動することになった時)、英文を言うことができます。



アイテムカードの枚数が最も多いプレイヤーと最も少ないプレイヤーの差が4枚以上になった時、英文を言うことができます。

## こんな時は

Q.条件を満たしていないのにルールカードの英文を言ってしまった(お手つき)。

A.自分の山札(それまでに取ったトラブルカードとルールカード)の中からランダムに1枚引き、伏せたまま中央の山札の近くに置いてください。次にルールカードの英文を言えたプレイヤーは、そのカードも受け取ることができます。

Q.2人以上が全く同時にルールカードの英文を言い終わった。

A.そのルールカードをその場で裏返してください。そのカードは誰も取らずにゲームを進めます。次にルールカードの英文を言えたプレイヤーは、そのカードも受け取ることができます。

Q.前からルールカードの条件を満たしていたのに、誰も気付いていなかった。

A.条件を満たした直後に言えなくても、後々気付いた人がいつでも英文を言うことができます。ただし「一時的に満たしていたけど、今は満たしてない」という場合はお手つきになります。また「○○が移動したとき」のルールは、その移動が行われる手番中でしか言えません。

Q.聞き取れないほど早口で英文が読まれた。もしくは英文の一部が少し間違っていた。

A.細かいミスは気にせずに楽しみましょう！

## イングリを作った人たち

企画・ゲームデザイン：おはようボードゲーム(海保けんたろー、佐藤伸之、遠藤剛永"マメヨシ")

ゲームデザインサポート：高橋晋平(株式会社ウサギ)

アートルワーク：まーる @MaruMaruTV1

イラスト原案：遠藤剛永"マメヨシ"

英文監修：諏訪大介(株式会社ハズトリー)、YURI

プロデューサー：大澤孝(アイデアステーション)

## テストプレイ協力

IMAMUN、kimkim、Nobori、RiNA、Shintaro Yataki、yuj、YURI、あいぼー、あっこ、いおた、おかだけん、キモト、くっちー、ぞの、たに、チャンブルー子、ティ、ともすぎとろル、ぱくゆう、ぱんだ。、まーちゃ、まくら、まさお、まのえりこ、ミハラ、みわ、ゆいき、よっちゃん、ヨノセコ、海保さよ、高尾有沙(ありばん)、斎藤颯夫、三部彩子、山本彩央里、山木理沙、若月由香子、森空青、泉川恵美、大杉功、仲本晟真、桃太郎、梅垣剛士、萩、野藤義一、矢部秀一(敬称略)